

探究通信 “All Different, All Wonderful”

～みんなちがって、みんないい～

【発行日】

令和4年11月4日

【発行者】

進路・探究部

講演会【リサーチクエストの立て方】

10月3日の6, 7限に実践女子大学より塩川宏郷先生を招いて講演会「リサーチクエストの立て方」を実施しました。興味・関心から出した「問い」をさらに深めてリサーチクエストにしていくための方法を講演会を通して教えていただきました。

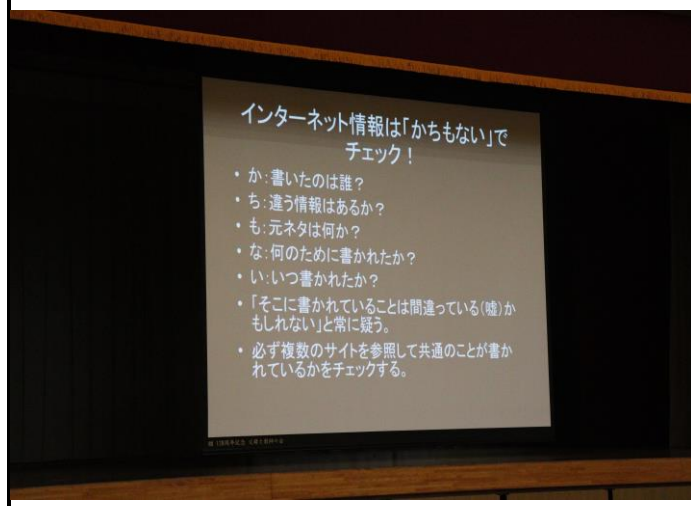
【塩川宏郷先生のご紹介】福島県内のへき地医療に従事後、自治医科大学付属病院小児科、とちぎ子ども医療センター心の診療科、東ティモール大使館、東京少年鑑別所、筑波大学を経て2018年に実践女子大学生活科学部教授に着任。専門領域は発達行動小児科学、小児精神医学。



～生徒の振り返り～

- ・形式的なものに限らず、「そもそも〇〇って？」素朴な疑問からで良い。リサーチクエストは、検証(○か×かを判断)するための仮説のことで、シンプルなものがいい。いざ興味のあるもの、疑問を探そうとすると上手く出て来ないことが多いので日頃から研究ノートを実践してみたい。Sさんの研究ノートがとても参考になった。リサーチクエストは、仮説が成り立たなかった場合でも新たな研究対象を見つけることができるので、ぜひ今後活用したい。
- ・「研究」というと普段の生活であまり馴染みがないため固い印象を受けていたが、Sさんの体験を聞き、研究のきっかけはなんてことない、ありふれたものでもいいとわかった。そのありふれた疑問をどう深めていくか、そこが重要であると感じた。

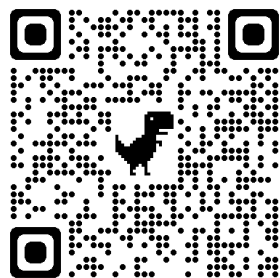
- ・私がこれまでの作業の中でたどり着いた問いが心理的なもので、抽象的なものだったので探究のアプローチの仕方が全くわからなくて変えようかと思っていました。ですが、お話しなされたSさんのテーマと論文を書くまでの流れを聞いて、当初考えていた内容のものでも十分探究として突き詰められることが出来るかと思う事が出来ました。また同時に、難しそうだけど、具体的な流れを知って面白そうだなと前向きに思う事が出来ました。「そもそも〇〇って何？」と簡単な疑問が出発点となると知り、そう考えると、疑問は普段の生活でも思いついているなど気付きました。
- ・日々浮かんだ疑問は今まで聞いてきた中で沢山あるので、そこから最も興味があるものを見つけたいと思った。将来に繋がるか、ではなく興味があって続けられるかを優先したいと思う。
- ・自分の考えつくような問いは探究で扱うようなものではないと思っていたけれど今回のお話を聞いて、自分の好きなこと、興味のあることについて調べることが大切であり、これは相応しくないとか考える必要はないのかなと思いました。論文などを読むときはしっかり読んで内容を理解することが大切だと思っていたけれど多読することが大切だとわかったので、新書シャワーの時のように沢山読むことに重きを置き、自分の求めてたような面白いと思えるような論文を探したいです。



・正直に言うと、今回はあまり自分の考えに変化はなかったが、そのかわりに後押しのように、考えが追加されていったというような感じがした。自分はどちらかといえば好奇心旺盛な方で、よく「何で？」と考えることがあるのだが、そういう小さな疑問を研究することで、あっと驚くような研究ができるのだと思った。まだまだガキンチョで、自分の調べたい心理学とか、教育とかはよくわからないから、その事に関する論文や本を読んで、自分の考えにプラスできるようにしていく。

・以前、探究の問いを立てた際は本当に自分が前から興味のある事柄について考えていました。しかし講演を聴き、身近なものを感じ、一つ一つに疑問を持つことの大切さと面白さに気づくことができました。また物事が行き詰ったとき、物事を遠くから眺めてみたり、他の人の意見を聴いてみたりして進めていきたい。

・この講演を受けるまで、探究というものの全貌があまりよく分かっていませんでしたが、先生のお話を聞いて、これからどんなことをすれば良いのかや、何が大切なのが自分なりによく分かりました。また、これから自分で問いを立てて様々なプロセスを経て答えを出していくことが楽しみになりました。今思うと日々たくさんの疑問が頭に浮かんでいましたが、気にしていても仕方が無いとすぐに忘れていました。しかし、その疑問が大きな発見に繋がるかもしれないということに気づきました。日々の疑問をもっと大切にしようと思います。



竹早高校 図書館
蔵書検索 QR コード

探究に役立つ本が！

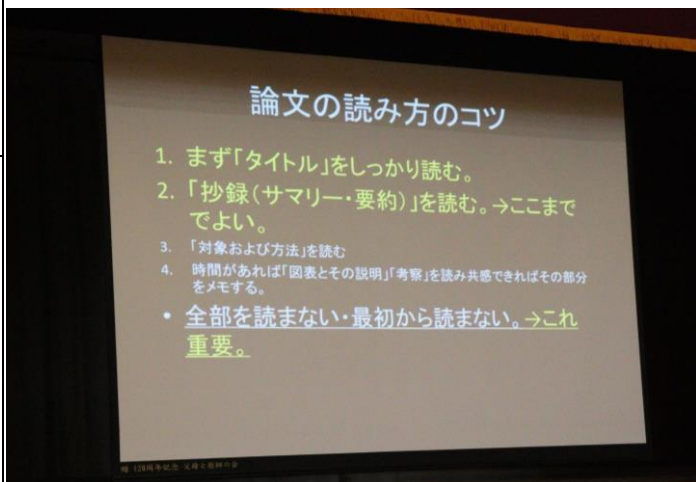
お役立ちサイト集

蔵書検索のポイントは
こちら！



・リサーチクエストとは難しそうだと思っていましたが、案外簡単にできるものだわかりました。研究ノートは気が向いたときにできそうですし、毎日継続して書くことができそうです。以前マインドマップを制作した時には、自分はゲームに非常に興味があるとわかったので、自分の好きなことを選んで、楽しんで研究したいと思います。

・前回の小探究で私は、調べ学習の中で図書館でのテーマに関係する本の収集や、中でも論文の読み取りにとっても苦労しました。ですが、今回の講演を聞いて最低限タイトルと要約のみでよいという言葉に衝撃を受け、論文に対するイメージ・考えが大きく変わりました。これからの探究では、深く考えずに多くの論文を読んで、自分の興味のあるテーマを追求していこうと考えました。



担当より

「そもそも〇〇ってなに？」日常の些細な疑問が研究のテーマとなる可能性があります。メモやノートにまとめて自分の興味・関心に気付いていこう！

まずは、身近な竹早高校の図書館から、資料・文献を探してみよう！

成田